

<今日の説教のポイント マタイによる福音書 27 章 1～10 節>
ペトロの罪 (先週) と比較して考えることが大事なユダの罪とその救い。

①ユダの罪だけでなく、彼をそそのかした人々の罪に注目！

私たちはイエス様を裏切ったユダの罪に目が行きがちです。しかし、ユダをそそのかした人々の罪も大きいです。「**我々の知ったことではない。お前の問題だ (原文：お前が注意すべきことだったのだ)**」(4)と言った彼らは、ユダに渡した銀貨 30 枚を神殿に納めず、自分たちがしたことの罪を認めています。罪を犯したことを苦しむ者に寄り添わない、さらに大きな罪を犯しているのです！

②ユダの後悔とペトロの大泣きの違いは？

「**ユダは、イエスに有罪の判決が下ったのを知って後悔し**」(3)とある「後悔する：メタメレオー」の原語は、「回心する、(神の方向に) 方向転換する」を意味する「後悔する：メタノエオー」とは違う言語です。ユダは後悔しましたが、自分で自分のけりをつけ(自殺した) たのです。自分で自分のけりをつける時、神様の方を向いていません、あるいは、「もう神様に顔を向けることは出来ない」と自分で決めつけています。しかし、聖書の神様は違うのです！どんな罪を犯しても、そのことを悔い、神様の下に来て「どうしようもない私です」と告白する者を受け入れて下さる神様なのです！泣き出し、何もできなくなった(死ぬことも！) ペトロの方が情けないかもしれません。しかし、だからこそ復活の主に出会え、赦されたことを知ることができたのです！自分で決めつけないで、聖書から知らされる神様を信頼し、お委ねする。大事です！

③ユダの「裏切り、売り渡し」は、神の「渡し」でもある！

ユダの「裏切り」(3)「売り渡し」(4)と訳されている語は、実は、神様が私たちの罪を赦すために御子を死に「渡された」でも使われています (**ロマ 8:32**)。ユダの悪しき行為は、神様の救いの行為の中で捉え直せるのです！この神様の存在を知らされた私たちのなすべきことは、ユダが本来取るべきであった道を歩んだパウロの後に続くことです(「ユダの跡継ぎパウロ」バルト)。ユダのこともまた、この憐れみに富む神様にお委ねすべきなのだと思います。